

令和2年度第9回市民協働によるまちづくり推進協議会内容

日時 令和3年3月16日（火）

14:00～16:30

場所 市役所401会議室

委員 9名出席

■会議の目的

- ・パートナーシップ補助金「すそのツリーハウスプロジェクト」視察
- ・次期協議会に向けて

1. 開会

2. 会長挨拶

3. すそのツリーハウスプロジェクト視察

パートナーシップ補助金を活用しているすそのツリーハウスプロジェクトの活動現場を視察した。

《感想》

- ・市外の学生等、若者が多く関わっていたのが良かった。
- ・これからどのように発展していくのか見守りたい。
- ・今回関わった若者がまた裾野に戻って今回の現場を見に来たり、新たなプロジェクトを始めたりすることに期待。
- ・愛されるプロジェクトになるためには⇒地元とのつながりを作る
 - 地域の総会やイベントで活動をPR
 - 何をしているプロジェクトなのか分かる看板を設置
 - 大工さん等、地元の人とつながる（紹介可能）
- ・現場で作業している人は補助金を活用していることを理解していなかったのでは？
 - 税金を投じている＝公益のために使われなければならない、周囲も成果に注目しているということを、学生を含む参加者全員が理解しているべき。

4. 答申提出報告

3月4日に行った市長への答申について報告を行った。

5. 元気な地域づくり研究会振り返り（別紙資料）

3月14日（日）13:00～ 市民文化センター会議室

講師：高崎経済大学 櫻井常矢教授

6. 次期協議会に向けて

答申における今後の検討内容5項目を主に引き続き協議を行う。

- ・ 市民をパートナーとして求める行政からの事業提案の方法
- ・ 若者が地域づくりに関わることの出来る仕組み作り
- ・ 地域の頑張りを共有する場づくり
- ・ 地域の気付きを生むための行政からの情報提供のあり方
- ・ 行政職員が地域に出て行きやすい環境づくり

7. その他

8. 閉会